

アライヘルメットは先代社長が
日本初のバイク用ヘルメットをつくった会社。
バイク乗りの先代が、自分や同じライダーの頭・命を護ろうと
ヘルメットをつくりはじめた60余年。

いまや日本有数のメーカーになったが
なおも機械化せず手づくり、あえて海外生産せず国内生産。
そして製造コストや効率よりも品質を優先するという。
それらすべては安全なヘルメットづくりのため。

ヘルメットの大切さを実感し製造ミスを絶対出さないように
採用する従業員のほとんどをバイク乗りとしている。
自分の命を守るのと同じようにユーザーの命を守る
という誇りがこの会社のものづくりを支えている。

ここのヘルメットのおかげで一命をとりとめたと
ユーザーから感謝されることがある。
今ではバイクのライダーだけでなく
自動車のF1ドライバーからも
絶大な信頼を寄せられるようになった。

ここでつくられるヘルメットは手作業が多いから
ひとつとして同じものはないけれど
どれもこれも究極の安全性を指向する。
大宮駅近くのまち工場が世界一に挑んでいる。

